

1 母子保健

鶴岡市の0～14歳人口(年少人口)は平成26年3月31日現在16,103人で総人口に占める割合は12.0%であり、出生数は減少傾向が進んでいます。

少子化に加え、乳幼児をとりまく環境は、女性の職場進出、核家族の増加、価値観の多様化など時代と共に大きく変化しており、更には乳幼児虐待など社会的にも問題が大きくなっており子どもを健やかに育む環境整備が必要となっています。

母子保健法に基づき、母性の健康増進とすべての子どもが健やかに生まれ尊重かつ保護され、健全な成長発達と健康増進を図るために、次の施策を行います。

(1) 乳幼児健康診査・健康教育事業

(平成26年度予算額 11,245千円) 健康課母子保健係

① 健康診査事業

乳幼児の健康増進を図るために、健康診査を実施しています。

健診では、我が子を客観的に観察することができるよう援助し母親の育児不安軽減と育児交流の場としても位置付けています。

平成25年度は乳幼児健診健診を集約化し、市総合保健福祉センターと温海温泉林業センターの2会場で実施しました。

また、歯科保健事業の見直しにより、2歳児歯科健康診査は廃止し、1歳6か月児健診で歯科衛生士による指導を行いながら、新たに希望者に対してフッ素塗布を実施しています。

・乳幼児健康診査実施状況(平成25年度)

月 齢	受診児 総数(人)	受診率 (%)	指導区分別実人員(人)					有所見率
			問題なし	要指導	要観察	要精密 検査	要治療・ 治療中	
4か月児	888	98.8	678	24	52	57	77	23.6
7か月児	906	99.0	733	11	74	12	76	19.1
1歳6か月児	976	99.0	719	62	130	17	48	26.3
3歳児	1,023	98.6	502	104	217	139	61	50.9

※虐待発生予防の観点から未受診者への受診勧奨強化を実施。それにより受診率が高くなっています。

※3歳児健診では、尿・視力・聴力検査が加わるため、要精密健康診査が高率となっています。

※1歳6か月児健診、3歳児健診では精密健康診査料を助成しています。

② 保健指導事業

子どもの成長、発達、栄養、育児への不安等子育て全般について、相談や保健指導を行っています。

(乳幼児健康相談実施状況の推移)

	23年度		24年度		25年度	
	回数	件数	回数	件数	回数	件数
定期育児相談	514	3,920	514	3,920	553	4,766
不定期育児相談	-	1,955	-	1,955	-	1,959
電話相談	2,372件		2,635件		3,855件	

※定期育児相談は各コミュニティセンターや地域庁舎でほぼ毎月実施。(健康すこやか相談窓口も含む)

③ 地域組織育成事業

母親同士の交流と、子ども達の遊びの「3つの間」(空間・仲間・時間)づくりを、また地区によっては異世代との交流と場づくりを目的に、学区・地域単位に子育てサークルの自主活動の支援を行っています。サークル活動は、コミュニティセンターや地域公民館等を会場に定期開催され、育児相談も同時開催となっています。

・子育てサークルと育児相談会(平成26年度)

場 所	サークル名	日 時	育児相談日時
第一コミセン	キラキラ星	金曜日 午前	第2金曜日 午前
第二コミセン	ヨチヨチ探検隊	月曜日 午前	第3月曜日 午前
第三コミセン	チロリン村	火曜日 午前	第3火曜日 午前
第四コミセン	おもちゃ箱	火曜日 午前	第3火曜日 午前
第五コミセン	てるてるぼうず	月曜日 午前	第3月曜日 午前
第六コミセン	コアラのマーチ	木曜日 午前	第1木曜日 午前
斎コミセン	のびのびクラブ	第2・4金曜日 午前	奇数月第2金曜日 午前
黄金コミセン	なかよしランド	第2・3木曜日 午前	第3木曜日 午前
湯田川コミセン	竹の子サークル	第1又は第2木曜日 午前	偶数月第3又は第4木曜日 午前
農村センター(大泉)	ミッキーのおうち	第2・4水曜日 午前	第4水曜日 午前
京田コミセン	ひよっこ広場	第2木曜日 午前	第2木曜日 午前
栄コミセン	栄あそぼう会	第1・3金曜日 午前	第3金曜日 午前

場 所	サークル名	日 時	育児相談日時	
田川コミセン	レッツゴー杉の子	第1又は第2火曜日 午前	奇数月第3又は第4 火曜日 午前	
上郷コミセン	未来っ子クラブ	水曜日 午前	第3水曜日 午前	
三瀬コミセン	わいわいクラブ	火曜日 午前	第4火曜日 午前	
由良コミセン	はまっ子広場	第2・3火曜日 午前	第2火曜日 午前	
小堅コミセン	ピヨピヨクラブ	第3木曜日 午前	第3木曜日 午前	
加茂コミセン	わくわく丸	随時	第2月曜日 午前	
湯野浜コスパ	ちんちん電車	第2・4木曜日 午前	第2木曜日 午前	
大山コミセン	大山よい子 ワイワイルーム	第1・3水曜日 午前	第1水曜日 午前	
	※第3水曜日育児サークルは大山児童館で			
西郷コミセン	つみきくらぶ	第2・4水曜日 午前	第4水曜日 午前	
藤島地域	ふれあいセンター	さわやかママのつどい	第1火曜日 午前	
		藤島あいあいひろば	毎週火～金曜日 午前	
	東栄公民館	東栄あいあいひろば	月1回水曜日 午前	—
	八栄島公民館	八栄島あいあいひろば	月1回水曜日 午前	—
	長沼公民館	長沼あいあいひろば	月1回水曜日 午前	—
	渡前公民館	渡前あいあいひろば	月2回金曜日 午前	—
羽黒地域	手向ふるさとセンター	だいてうっこ広場	火曜日 午前	—
	羽黒福祉センター	いずみっこ広場	水曜日 午前	—
	広瀬地区公民館	ひろせっこ広場	木曜日 午前	—
	羽黒四小地区公民館	こだまっこ広場	金曜日 午前	—
	貴船保育園	にこにこ広場	月～金 9～12時 13～15時	羽黒保健センター 第4月曜日 午前
櫛引ほごやかセンター (櫛引地域)	あそぼう会	金曜日 午前	奇数月第2月曜日 午前	
あつみ子育て支援センター (温海地域)	もこもこ	月1回 (10時～11時30分)	奇数月第2水曜日 午前	

④ 健康教育事業

子どもの成長・発達や育児について、個別的・集団的に指導助言を行い、知識の普及を図っています。

(ア) 食育指導と育児教室実施状況

		23年度		24年度		25年度	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数
食育	離乳食指導	109	2,005	112	1,924	60	1,794
	ベビーキッチン	4	63	4	64	4	66
	食育教育	31	919	31	777	25	482
育児教室	育児サークル支援	177	1,252	179	986	127	920
	子育て支援	38	702	30	263	23	493

※離乳食指導は、4か月児、7か月児の各健診時に実施。

※ベビーキッチンは9～11か月児を対象にした離乳食の調理実習・試食を含む食育教室。

(イ) 思春期ふれあい講座（朝日地域 平成25年度）

思春期における心と体の変化を知り、豊かな人間性と社会性を持ち正しい知識と行動により将来待ち望んだ妊娠が迎えられるように講義と実技体験（赤ちゃん抱っこ・妊婦体験）を行います。

対象：中学3年生の男女 31名（年1回）

(ウ) 歯科健康教育実施状況

対象	事業名	23年度		24年度		25年度	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数
乳児の保護者	7か月児健診	55	1,007	56	975	30	906
幼児及び 保護者	1歳6か月児健診 3歳児健診	88	2,557	88	2,054	80	1,999
	育児サークル等	18	300	25	429	30	912
	2歳児等 歯科教室・歯科健診	24	472	24	442	-	-
妊婦及び夫	パパ・ママ教室	6	247	6	275	6	260

⑤ 健康支援事業

先天的な障害や発達障害等の障害受容と育児を支援し、適切な療育環境の整備を図り、また一貫した療育支援のため、医療・保健・福祉の連携を図っていきます。

(ア) 言語発達相談実施状況（鶴岡地域）

23年度		24年度		25年度	
回数	人数	回数	人数	回数	人数
8	延 52 実(32)	8	延 52 実(39)	8	延 55 実(39)

※対象は乳幼児健診や相談において、ことばの発達やコミュニケーションに課題のある幼児とその家族、育児不安のある母とその子ども等を対象に実施。

(イ) ことばの教室（朝日地域・温海地域）

地域教育相談窓口（鶴岡朝暘第二小学校内）の利用が遠隔地のため、ことばの発達やコミュニケーションに課題がある幼児・児童とその家族を対象に開催。温海地域は平成5年度から、朝日地域は平成6年度から毎年開催しています。

朝日地域		23年度	24年度	25年度
ことばの教室（個別指導）	対象児数	14	17	11
	実施回数	40	49	49
	参加延数	134	183	175
学習会・レクリエーション	対象児数	14	—	—
	実施回数	2	—	—
	参加延数	8	—	—

温海地域		23年度	24年度	25年度
ことばの教室 平成25年度は個別指導により月1回、言語聴覚士の個別指導を年4回実施	対象児数	6	7	3
	実施回数	24	28	14
	参加延数	46	65	27
親の勉強会 (グループの話し合い及び個別相談)	対象児数	6	7	—
	実施回数	8	10	—
	参加延数	21	27	—

(ウ) 元気キッズ教室

幼児肥満の増加から生活習慣病の予防を強化します。1歳6か月児・3歳児健診で発見された肥満や低身長幼児を対象に専門医師による健診や、生活習慣病の予防に向け継続的に支援しています。

		23年度	24年度	25年度
回数		4回	4回	4回
人数	肥満児	実 26 延 29	実 26 延 33	実 29 延 36
	低身長	実 25 延 28	実 36 延 46	実 41 延 47

⑥ 療育指導事業

障害児の適正療育を図るために、大山地区・温海地域親の会活動を拠点に療育経験交流と情報交換及び収集などを行いながら、親の会活動を育成しています。

- つくしんぼの会(知的障害児親の会) 開催状況<大山地区> (平成 25 年度)

開催回数	人数	内容
2回	8家族 延：会員 16人	7月・11月交流：ミュージックセラピー

- かたつむりの会(療育訓練を必要とする児の親の会) 開催状況<温海地域> (平成 25 年度)

開催回数	人数	内容
3回	8家族 延：会員 16人	情報交換、近況報告、研修会等

- 療育講座 (平成 25 年度)

発達障害児(疑いのある児)について正しく理解し、気になる個性や接し方について知るため、特性に合った関わり方を学ぶ講座を開催しています。

開催回数	実施月日	人数	対象	内容
1回	12/7 (土)	75人	・乳幼児をもつ保護者 ・子どもを育てにくいと感じている保護者、保育・教育関係者等	講演「ほめプログラムで子どもが変わる ～できるも苦手も伸ばすコツ～」 講師 佐竹 真次氏 (山形県立保健医療大学 作業療法学科 教授)

⑦連携推進事業

- 療育支援連絡会議 (温海地域)

療育支援について、保健、福祉、教育の連携強化事業として開催、各担当者が温海地域全保育所、希望の小中学校に出向き開催。

開催回数	実施時期	参集人数、担当者	内容
保育所等 5回	7～10月	保育所(園長、担任保育士等) 行政職員(児童福祉、保健師、教育課職員)	情報交換 ケース会議
学校等 3回	8月	学校(校長、教頭、担任、養護教諭等) 行政職員(児童福祉、保健師、教育課職員)	情報交換 ケース会議

(2) 未熟児養育医療給付事業

(平成 26 年度予算額 5,616 千円) 健康課母子保健係

*平成 25 年度から新規事業 (県より市へ移譲)

未熟児は、正常な新生児に比べ疾病にかかりやすく、その死亡率は極めて高率であるばかりでなく、心身の障害を残すことも多いことから、生後すみやかに適切な処置を講ずることが必要です。このため、母子保健法に基づき、養育のために入院することを必要とする未熟児に対し指定医療機関において、その養育に必要な医療の給付を行い、又はこれに代えて養育医療に要する費用を支給します。

・未熟児養育医療費の給付

	25 年度
給付決定件数	12 件
診療実日数	489 日

(3) 妊婦健康診査・家庭子育て機能育成事業

(平成 26 年度予算額 72,507 千円) 健康課母子保健係

妊娠期間を健やかに過ごし安心して出産に望めるようにするため、妊婦に対する健康診査を医療機関に委託し実施しています。一般健康診査 14 回、HTLV-1 抗体検査、性器クラミジア抗原検査、子宮頸がん検診の助成を実施し、妊娠中の健康管理や経済的負担の軽減を図っています。

① 健康診査事業

・妊婦健康診査受診者数 (平成 25 年度)

受診者実人員		受診者実人員		受診者実人員		受診者実人員	
1 回目	888	5 回目	832	9 回目	835	13 回目	687
2 回目	868	6 回目	835	10 回目	849	14 回目	480
3 回目	853	7 回目	828	11 回目	816		
4 回目	835	8 回目	847	12 回目	802		
子宮頸がん	846	クラミジア	838	HTLV-1	851		

※平成 21 年度より初回 1 万円、2 回目以降 5 千円を上限として助成。

・妊婦健康診査結果状況（平成 25 年度）

	受診者 実数	指導区分別実人数				異常のある者（疑）			超音波	HBs 抗 原陽性 者数
		異常 なし	要経産 観察	要精密 検査	要治療	高血圧・ たん白尿	貧血	高血糖		
1 回目	888	698	154	3	34	209	35	33	8	1
4 回目	834	646	133	0	47	97	24	—	27	—
8 回目	838	433	204	0	208	147	177	—	76	—
10 回目	822	473	192	0	190	114	139	—	47	—
12 回目	771	530	164	0	80	123	94	—	13	—
子宮頸がん	846	818	15	13	0	—	—	—	—	—
クラミジア	834	810	3	1	20	—	—	—	—	—
HTLV-1	846	843	3	0	0	—	—	—	—	—

※HCV 抗体陽性者は初回のみ。陽性者は 0 人。

（注）上記の結果は、基本的な妊婦健康診査に加え、血液検査等を行った時のもので、償還払いによる受診は含まない。

（注）高血圧は、最高血圧 140 mm Hg、最低血圧 90 mm Hg 以上、たん白尿は+以上、貧血はヘモグロビン濃度 11g/dℓ未満。

② 保健指導事業

妊娠・出産・育児について、個別的・集団的に指導助言を行い、知識の普及を図っています。

・パパ・ママ教室実施状況推移

	23 年度	24 年度	25 年度
実施回数	6	6	6
受講者数	247	275	260

※マタニティ教室を平成 13 年度から、パパ・ママ教室として開催。夫婦で出席しやすいように日曜日、夜間に開催し内容も体験学習を多く取り入れ実施しています。

③ 母子健康手帳交付事業

母子手帳は、妊産婦と乳幼児の健康管理と健康診査の結果や発育の記録のために必要な項目を記録するものです。外国人の妊婦に対し、外国語版も準備しています。

件数	交付数	日本語版	ハングル版	英語版	中国語版	その他
23 年度	941	935	0	2	4	0
24 年度	927	922	0	2	2	1
25 年度	915	912	0	1	2	0

※日本語版も一緒に交付しています。

④ 訪問指導事業

育児経験の不足からくる育児不安の解消と、生命誕生の喜びを確認し、親の育児に対する役割や責任について理解を深めてもらうために、全乳児に訪問指導を行っています。また、若年、未婚、高齢初産婦などハイリスク妊婦に対しては、妊娠中にも訪問指導をしています。

	23年度		24年度		25年度	
	人数(人)	延人数(人)	人数(人)	延人数(人)	人数(人)	延人数(人)
乳児	1,001	1,166	942	1,044	870	999
低出生体重児	35	35	43	51	37	42
幼児	248	365	269	300	130	178
妊産婦	683	771	960	1,059	882	1,012
その他	35	53	69	90	68	101

⑤ すこやかな子どもを生ま育てるネットワーク推進委員会

(1) 設置目的

核家族化、少子化の進展、女性の社会進出などの社会構造が変化するなかで、子育てに不安をもつ母親が増え、身近に相談する人がいないなど新しい時代の子育てが問題となっています。

すこやかな子どもを生ま育てるために関係者が情報を交換しながら連携を密にし、効果的な母子保健活動を推進していきます。

(2) 設立年月日 平成6年2月16日

(3) 平成25年度活動目標「みんなで支えよう！親子のすこやかな成長を…」

(4) 活動状況（平成25年度）

○子育て講演会 平成25年11月17日 参加者 108名

テーマ 「五感ではぐくむ子どものこころ

～完璧でない育児のすすめ！のんびりゆったり抱っことおんぶ」

講師 岩倉 政城氏（尚絅学院大学子ども学科教授）

○円卓会議 平成26年2月13日

テーマ 「虐待を見逃さないために」

○すこやか出前子育て懇談会

・平成25年10月11日 参加者 77名 三園(かたばみ・南部・西部保育園)合同
保護者研修会

・平成25年10月29日 参加者 57名 鶴岡第四中学校「学校保健委員会」

・平成25年12月4日 参加者 37名 朝陽第五小学校「学校保健委員会」

○すこやかネット通信「親ガメ・子ガメ」

42号 平成25年10月発行 43号 平成26年3月発行

○専門部活動

- ・研修部 円卓会議、子育て講演会を企画し、実施
- ・推進部 「すこやか出前子育て懇談会」の実施
- ・編集部 「すこやかネット通信」を2回編集・発行

(5) 委員体制 20名

委員区分

- ①保健所等行政機関の代表者 …… 4名
(庄内保健所、庄内児童相談所、小学校・中学校各養護教諭部会)
- ②小児科・産婦人科等関係医師 …… 2名
- ③地域関係団体代表者 …… 4名
(市立保育園保護者会連絡協議会、子育てサークル等)
- ④学識経験者 …… 3名
- ⑤市関係課職員 …… 7名
(子育て推進課、社会教育課、中央公民館、学校給食センター、
庄内病院小児科・産婦人科・心療科)

(4) 特定不妊治療費助成事業

(平成 26 年度予算額 4,505 千円) 健康課母子保健係

特定不妊治療（体外受精及び顕微授精による治療法）を受ける夫婦に対して、山形県特定不妊治療費助成事業に上乘せをして、費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図っています。

	24 年度	25 年度
助成件数	延 59 実 (40)	延 90 実 (57)

2 予 防 接 種

予防接種は、感染力の強い疾病の発生及びまん延防止を図るとともに、予防接種を受けた本人が病気にかからないように、あるいは、かかっても重くならないようにするという役割をもっています。

近年、ワクチン開発や数種類のワクチン輸入及び実用化が実現している状況、国において予防接種制度の総合的な見直しが検討されていることから予防接種施策は大きく変化しています。本市においてはこうした動向に注視し、予防接種法等に基づき制度整備を行い、市民に対し予防接種の意義や効果、健康被害救済制度等について周知徹底を図るとともに、安全で有効な予防接種の実施に努めています。

平成 26 年度には、新たなワクチンの導入により接種スケジュールが過密になっており、必要なワクチンを接種する機会を逃してしまう場合があることなどから、同一ワクチンの接種間隔を緩和するよう予防接種法が改正されました。また、平成 25 年度から定期予防接種に追加された子宮頸がんについては、平成 25 年 6 月より積極的接種勧奨を差し控えています。

本市が実施する定期予防接種の接種方法については、平成 25 年度から全て個別接種に変更されました。また、平成 26 年度より、里帰り等やむを得ない事由のため県外で定期予防接種を受ける場合の経済負担の軽減を図るため、償還払いにて助成する制度を開始しました。

大人の予防接種については、平成 24 年 9 月から平成 26 年 7 月まで、75 歳以上の方を対象とした肺炎球菌予防接種費用助成事業を実施しています。また、平成 25 年 7 月より、妊婦への風しん感染を防止することで先天性風しん症候群の発生を未然に防ぐため、緊急対策として成人に対する風しんワクチン接種費用助成事業を開始し、平成 26 年度も引き続き実施しています。

平成 26 年度より、高齢者の予防接種の担当は、高齢保健係から母子保健係に変更されました。

(1) 予防接種事業

(平成 26 年度予算額 245,810 千円) 健康課母子保健係

・予防接種法による予防接種の対象となる病気

ジフテリア	破傷風
百日せき	B C G
ポリオ	ヒブ
麻しん (はしか)	小児用肺炎球菌
風しん	子宮頸がん (HPV)
日本脳炎	

① 百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ予防接種

平成 24 年 11 月 1 日より、4 種混合 (百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ) が定期予防接種に規定され、接種が開始された。

ワクチン名	対象年齢	標準的な接種年齢	回数	間隔
沈降精製 DPTワクチン (3混)	1期初回 生後3か月～7歳6か月に至るまで	生後3か月～1歳	3回	3～8週
	1期追加 1期初回終了後～7歳6か月に至るまで	1期初回接種(3回) 終了後12か月～18か月	1回	—
沈降精製 DPT-IPV ワクチン(4混)	1期初回 生後3か月～7歳6か月に至るまで	生後3か月～1歳	3回	3～8週
	1期追加 1期初回終了後～7歳6か月に至るまで	1期初回接種(3回) 終了後12か月～18か月	1回	—
DTトキソイド (2混)	2期 11歳～13歳未満	11歳～12歳	1回	—
不活化ポリオ	1期初回 生後3か月～7歳6か月に至るまで	生後3か月～1歳	3回	3～8週
	1期追加 1期初回終了後～7歳6か月に至るまで	1期初回接種(3回) 終了後12か月～18か月	1回	—

接種者数推移

(単位：人、%)

	23年度	24年度	25年度
対象者数(人)	7,131	6,495	6,987
接種者数(人)	7,438	6,460	6,127
接種率(%)	104.3	99.5	87.7

※対象者数：1期初回3×(0歳の9/12+1歳の3/12)+1期追加(1歳の9/12+2歳の3/12)+12歳
+ポリオ(0歳の9/12+1歳の6/12)×12/15
平成25年度は、3か月～1歳の3種、4種混合対象者数+12歳+ポリオ対象者数(3種混合とポリオ未
接種の場合は4種混合接種)とした。

② 麻しん(はしか)、風しん予防接種

ワクチン名	対象年齢	回数
麻しん・風しん(混合) 麻しん(単抗原) 風しん(単抗原)	1期 1歳～2歳に至るまで	1回
	2期 5歳～7歳未満で小学校就学前の1年間にある者	1回

接種者数推移

		23年度	24年度	25年度
麻しん 風しん	対象者数(人)	5,202	4,903	1,938
	接種者数(人)	4,979	4,737	1,924
	接種率(%)	95.7	96.6	99.3

※対象者数：(1期、2期、3期、4期) 1歳+6歳+13歳+18歳の合計

※3期(中1)・4期(高3)は平成24年度で時限措置終了。

③ 日本脳炎予防接種

ワクチン名	対象年齢	標準的な接種年齢	回数
日本脳炎	1 期初回 生後 6 か月～7 歳 6 か月に至るまで ※特例対象者（H7.4.2～H19.4.1 生まれ）含む	3 歳	2 回
	1 期追加 1 期初回終了概ね 1 年後～7 歳 6 か月に至るまで ※特例対象者（H7.4.2～H19.4.1 生まれ）含む	4 歳	1 回
	2 期 9 歳～13 歳未満	9 歳	1 回

※平成 22 年度から 3 歳に対する積極的接種勧奨が再開。

平成 25 年度は 3 歳と小学 1・2 年生、高校 3 年生に積極的接種勧奨を実施。

接種者数推移

	23 年度	24 年度	25 年度
対象者数	4,239	4,133	4,057
接種者数	8,182	6,888	5,300
接種率	—	—	—

※対象者数：1 期初回 2×（3 歳）＋1 期追加（4 歳）＋2 期（9 歳）

※特例対象者（H7.4.2～H19.4.1 生まれ）が不足分を接種したものも含まれる。

④ BCG接種

平成 25 年 4 月 1 日より対象年齢が生後 1 歳に至るまでの者（標準接種は生後 5 か月～8 か月）に変更。また、接種方法も個別接種に変更。

種類	対象年齢	回数
B C G	生後 1 歳に至るまで	1 回

接種者数推移

	23 年度	24 年度	25 年度
対象者数	964	944	1,057
接種者数	957	914	701
接種率	99.3	96.8	66.3

※対象者数：5 か月以上 1 歳未満（平成 24 年度までは集団接種案内者数）

⑤ ヒブ感染症・小児肺炎球菌・子宮頸がん予防接種

平成 25 年 4 月 1 日から、3 ワクチンともに定期予防接種に規定された。

種 類	対象年齢	標準的な接種開始・回数
ヒブ (インフルエンザ菌 b 型)	2 か月～5 歳未満	2 か月以上 7 か月未満 初回免疫 3 回 (27 日～56 日) 追加免疫 1 回 (初回免疫終了後 7 月～13 月の間)
小児用肺炎球菌	2 か月～5 歳未満	2 か月以上 7 か月未満 初回免疫 3 回 (27 日以上) 追加免疫 1 回 (3 回目接種後 60 日間以上)
子宮頸がん (HPV)	中学 1 年～高校 1 年生	3 回

接種者延べ人数推移

	23 年度	24 年度	25 年度
ヒブ	3,769	3,973	4,414
小児用肺炎球菌	4,508	4,072	4,198
子宮頸がん	5,302	1,895	352

※子宮頸がんは、平成 25 年 6 月より積極的接種勧奨を差し控えている。

⑥ 風しん予防接種費用助成事業

対 象 者：・妊娠を予定している又は希望している女性

・妊婦健康診査等抗体検査において抗体価が低いと判定された妊婦の夫及び同居家族

事業内容：申請時に交付した助成票により実施医療機関で抗体検査を受け、抗体価が十分でないと判定された場合ワクチン接種。

抗体検査・ワクチン接種ともに全額助成。

	25 年度 (人)
抗体検査	736
麻しん風しん接種	204
風しん接種	34
償還 (抗体検査)	58
償還 (接種)	187

⑦ 高齢者インフルエンザ予防接種事業

予防接種法に基づき、高齢者インフルエンザ予防接種を実施し、高齢者のインフルエンザによる死亡や合併症を予防し、寝たきり予防、健康増進を図ります。

- ・対象者 ①65歳以上の方 (41,103人)
 - ②60歳から65歳未満の者で心臓・腎臓・呼吸器等の内部障害(身障手帳1級に該当)を有する方 (81人)
- ・実施方法 対象者に個別に予防接種券を送付し、契約医療機関に3,000円で委託して実施。対象者1人につき1回の接種に1,500円を助成します。申請により、生活保護世帯者は自己負担免除、市民税非課税世帯者(但し、課税世帯の被扶養者を除く)は2,000円を助成します。

	23年度	24年度	25年度
接種者数(人)	27,046	26,759	27,312
(再掲) 対象者②接種者数	53	57	50
(再掲) 生活保護	257	269	285
(再掲) 市民税非課税	1,292	1,193	1,280
接種率 (%)	67.9	65.9	66.3

⑧ 高齢者肺炎球菌予防接種費用助成事業

23価肺炎球菌予防接種の一部助成をおこない、高齢者の肺炎による寝たきり予防、健康増進を図ります。

- ・対象者 75歳以上で、過去5年以内に肺炎球菌予防接種をうけていない方
- ・実施方法 申請により予防接種券を交付し、契約医療機関に委託し実施。対象者1人につき1回の接種に4,000円を助成します。

	24年度	25年度
接種者数	1,185	2,170
(再掲) 75～79歳	466	888
(再掲) 80～84歳	414	703
(再掲) 85～89歳	217	410
(再掲) 90歳以上	88	169

3 成人保健

いきいきとした高齢期を過ごすためには壮年期からの健康管理が大切です。特に死亡率の6割以上を占めている、がん・心臓病・脳卒中・糖尿病などの生活習慣病対策が重要です。

鶴岡市では、健康増進法に基づく各種健康診査や健康相談をはじめ市民の健康づくりのための事業を実施しています。

(1) 健康診査事業

(平成26年度予算額 244,489千円(がん検診受診向上対策事業含む))

健康課成人保健係

がん、心臓病、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病の予防や早期発見のため、年1回必要な健診と健診結果に基づく指導を行い、働き盛りからの健康管理と老後の健康の保持に役立たせようとするものです。

○健診種類

- ・胃・大腸がん集団検診……………各地区公民館、コミセン等で実施
- ・呼吸器（肺がん・結核）集団検診……………各地区公民館、コミセン等で実施
- ・子宮がん個別検診……………市内5医療機関で実施
- ・乳がん個別検診……………市内12医療機関で実施
（内、乳房エックス線検査は7医療機関で実施します）
- ・がん人間ドック検診（胃・大腸・呼吸器・子宮・乳がん）……………市内5医療機関で実施
- ・骨粗しょう症検診……………市内5医療機関で実施
- ・肝炎ウイルス検査……………指定の日時・会場で実施
- ・歯周疾患個別検診……………県内委託医療機関で実施
- ・特定健康診査（基本健康診査に準ずる健診）
 - 集 団……………各地区公民館、コミセン等で実施
 - 個 別……………市内49医療機関で実施
 - 人間ドック……………市内5医療機関で実施

○委託料（単位：円）

検診項目		26年度	検診項目		26年度	
胃がん検診	集団	4,892	骨粗しょう症検診	人間ドック	3,120	
大腸がん検診	集団	1,886	肺炎ウイルス検査	集団	3,240	
子宮がん検診	集団	4,320	歯周疾患検診	集団・個別	4,931	
	個別	6,864	がん 人間ドック健診	男	13,810	
乳がん検診	集団	1方向		4,288	女(子宮)	17,340
		2方向		6,431	女(子宮、乳(1方向))	20,830
	個別	1方向		4,997	女(子宮、乳(2方向))	21,910
		2方向	6,077	特定健康診査	集団	8,608
肺がん検診	集団	読影	1,313	個別(人間ドック含む)	10,304	
		喀痰検査	2,916			
	ドック	喀痰検査	2,910			

※特定健康診査は基本項目、詳細項目すべてを実施した場合の委託料となります。

※がん人間ドック検診は該当する検診すべてを実施した場合の委託料となります。

○自己負担金（単位：円）

検診項目		26年度	検診項目		26年度	
胃がん検診	69歳以下	1,000	骨粗しょう症検診	集団・人間ドック	500	
	70歳以上	200	肺炎ウイルス検査	41歳以上 69歳以下	300	
大腸がん検診	69歳以下	500		40歳・70歳以上	無料	
	70歳以上	100	歯周疾患検診	40・50・60歳	1,500	
子宮がん検診	69歳以下	1,200		70歳	無料	
	70歳以上	400	がん人間 ドック検診	男	6,200	
乳がん検診	69歳以下	1,200		女(子宮)	7,400	
	70歳以上	400		女(子宮、乳)	8,600	
呼吸器検診 (肺がん・結核)	読影	69歳以下	200	特定健康診査	64歳以下	1,500
		70歳以上	無料		65歳以上(集団・個別)	300
	喀痰	69歳以下	600		65歳以上(人間ドック)	1,500
		70歳以上	200			

※生活保護世帯は、申請により全額免除されます。(人間ドックを除く)

※市町村民税非課税世帯は、申請により一部免除されます。(人間ドックを除く)

※特定健康診査の自己負担金は、加入する医療保険者によって異なります。

① 健康診査（基本健康診査に準ずる健診）

- ・健診の内容 ①問診、身体計測（身長・体重・腹囲）、理学的検査、血圧測定、検尿（糖・蛋白）、脂質検査（LDL コレステロール・HDL コレステロール・中性脂肪）、肝機能検査（AST（GOT）、ALT（GPT）、 γ -GT（ γ -GTP））、糖尿病検査（空腹時血糖またはヘモグロビン A1c）
- ②心電図検査、眼底検査、貧血検査（検査は医師の判定に基づき選択で実施）
- ・健診対象者 40 歳以上の市民で他で受診する機会のない方
（平成 25 年度実績）

		計	生活保護	その他
受診者数（人）	集 団	93	93	0
	個 別	12	12	0
	ドック	10	9	1
	計	115	114	1
階層区分(人)	積極的	12	12	0
	動機づけ	15	15	0
	計	27	27	0

② 胃がん検診

- ・検診の内容 問診、胃部エックス線検査
- ・検診対象者 40 歳以上の市民で他で受診する機会のない方

		23 年度	24 年度	25 年度
対象者数（人）		61,646	61,779	54,517
受診者数 （人）	集 団	5,432 (187)	5,058 (158)	4,979(182)
	ドック	14,100	14,085	13,738
	計	19,532	19,143	18,717
受診率	(%)	31.7	31.0	34.3
要精検者数	(人)	5,018	4,640	6,302
要精検率	(%)	25.7	24.2	33.7
精検受診者数	(人)	4,793	4,460	6,068
精検受診率	(%)	95.5	96.1	96.3
がんであった人	(人)	79	76	52

※精密検査の状況は、平成 25 年度については平成 26 年 5 月現在の数値。平成 23・24 年度については翌年度末までに報告のあったもの。

※集団について、日曜日がん検診による受診者数を（ ）内再掲。

③ 大腸がん検診

- ・検診の内容 問診、便潜血検査（2日法）
- ・検診対象者 40歳以上の市民で他で受診する機会のない方

		23年度	24年度	25年度
対象者数（人）		63,291	63,368	56,574
受診者数 （人）	集 団	7,541 (188)	7,208 (115)	7,496(129)
	ドック	14,722	14,807	14,718
	計	22,263	22,015	22,214
受診率	(%)	35.2	34.7	39.3
要精検者数	(人)	1,641	1,522	1,735
要精検率	(%)	7.4	6.9	7.8
精検受診者数	(人)	1,248	1,258	1,342
精検受診率	(%)	76.1	82.7	77.3
がんであった人	(人)	40	49	49

※精密検査の状況は、平成25年度については平成26年5月現在の数値。平成23・24年度については翌年度末までに報告のあったもの。

※集団について、日曜日がん検診による受診者数を（ ）内再掲。

④ 子宮がん検診

- ・検診の内容 問診、視診、頸部細胞診
- ・検診対象者 20歳以上の市民で他で受診する機会のない方

		23年度	24年度	25年度
対象者数（人）		47,828	47,479	43,584
受診者数 （人）	集 団	69	90	71
	個 別	4,936	4,830	5,696
	ドック	6,312	6,232	6,181
	計	11,317	11,152	11,948
受診率	(%)	23.7	23.5	27.4
要精検者数	(人)	217	198	249
要精検率	(%)	1.9	1.8	2.1
精検受診者数	(人)	181	174	182
精検受診率	(%)	83.4	87.9	73.1
がんであった人	(人)	15	13	11

※精密検査の状況は、平成25年度については平成26年5月現在の数値。平成23・24年度については翌年度末までに報告のあったもの。

⑤ 乳がん検診

- ・検診の内容 問診、視診、乳房エックス線（マンモグラフィ）検査
- ・検診対象者 40歳以上の偶数年齢の市民で他で受診する機会のない方

		23年度	24年度	25年度
対象者数（人）		37,524	36,920	36,976
受診者数 （人）	集団	67	85	160
	個別	2,003	1,889	2,094
	ドック	3,878	3,909	3,817
	計	5,948	5,883	6,071
受診率	（%）	15.9	15.9	16.4
要精検者数	（人）	473	425	382
要精検率	（%）	8.0	7.2	6.3
精検受診者数	（人）	427	395	315
精検受診率	（%）	90.3	92.9	82.5
がんであった人	（人）	16	14	14

※精密検査の状況は、平成25年度については平成26年5月現在の数値。平成23・24年度については翌年度末までに報告のあったもの。

⑥ 呼吸器検診（結核・肺がん検診）

- ・検診の内容 問診、胸部エックス線検査、かく痰細胞診（ハイリスク希望者）
- ・検診対象者 40歳以上の市民で他で受診する機会のない方

		23年度	24年度	25年度
対象者数（人）		62,958	62,911	56,815
受診者数 （人）	集団	9,864(167)	9,358(123)	9,418 (137)
	ドック	14,735	14,821	14,688
	計	24,599	24,179	24,106
	かく痰検査	846	772	783
受診率	（%）	39.1	38.4	42.4
要精検者数	（人）	522	576	595
要精検率	（%）	2.1	2.4	2.5
精検受診者数	（人）	435	496	469
精検受診率	（%）	83.8	86.1	78.8
がんであった人	（人）	18	14	11
結核であった人	（人）	1	0	2

※精密検査の状況は、平成25年度については平成26年5月現在の数値。平成23・24年度については翌年度末までに報告のあったもの。

※集団について、日曜日がん検診による受診者数を（ ）内再掲。

⑦ 骨粗しょう症検診

- ・検診の内容 問診、骨塩定量検査
- ・検診対象者 40・45・50・55・60・65・70歳の女性の市民で他で受診する機会のない方

		23年度	24年度	25年度
受診者数 (人)	集団	62	78	57
	ドック	1,053	964	959
	計	1,115	1,042	1,016
要指導・要医療者数 (人)		235	192	209
要指導・要医療率 (%)		21.1	18.4	20.6

⑧ 肝炎ウイルス検査

- ・検診の内容 問診、C型肝炎ウイルス検査、HBs抗原検査
- ・検診対象者 当該年度において40歳となる方又は41歳以上となる方で過去に当該検診に相当する検診を受けたことがなく、本検診の受診を希望する方

(平成25年度実績)

	40歳総合検診(人)	集団検診(人)	計 (人)
受診者	38	285	323
C型肝炎感染疑い	0	1	1
B型肝炎陽性	0	2	2

⑨ 歯周疾患検診

- ・検診の内容 問診、歯周組織検査
- ・検診対象者 40・50・60・70歳の市民で他で受診する機会のない方

		23年度	24年度	25年度
対象者数 (人)		7,484	7,267	7,056
受診者数 (人)	集団	58	72	55
	個別	251	211	236
	計	309	283	291
受診率 (%)		4.1	3.9	4.1
要精検者数 (人)		261	244	215
要精検率 (%)		84.5	86.2	73.9

⑩ 人間ドック

		23年度	24年度	25年度
一日	男	6,381	6,479	6,397
	女	7,632	7,732	7,682
	計	14,013	14,211	14,079
一泊	男	654	576	623
	女	198	172	160
	計	852	748	783
合計		14,865	14,959	14,862

⑪ 健康診査受診意向調査

市等で実施する各種健康診査の対象者がいる全世帯に対し、種別ごとにどのように受診するのかを把握する調査で、12月に実施しています。

	23年度	24年度	25年度
対象世帯数	44,850	45,127	45,518
回収世帯数	26,955	17,114	15,617
回収率(%)	60.1	37.9	34.3

※回収世帯数は各年度1月31日現在数値。

※登録制としたため、回答人数は掲載しない。

(2) 働き盛りの健康診査事業

(平成26年度予算額 0千円 がん検診受診向上対策事業に一本化) 健康課成人保健係

高齢社会を生きていくためには、若い世代からの健康づくりがとりわけ重要です。

鶴岡市では、働き盛りの時期に自己管理能力を身につけるとともに、高齢期に向けた健康づくりへの意識啓発を図るために、各種事業を実施しています。

① 40歳・50歳総合健診

40歳・50歳という節目の年齢を迎える市民を対象とし、就労時間を考慮し早朝に実施します。

・健診項目 特定健康診査、各種がん検診、歯周疾患検診、肝炎ウイルス検査(40歳のみ)

・総合健診受診者(平成25年度実績)

対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
3,297	76	2.3

- ・各種がん検診、歯周疾患検診、肝炎ウイルス検査（40歳のみ）（平成25年度実績）

	肺がん 検診	胃がん 検診	大腸がん 検診	子宮がん 検診	乳がん 検診	骨粗鬆 症検診	歯周疾 患検診	肝炎 ウイルス 検査
受診者数（人）	72	69	71	51	53	57	55	38
要精検者数（人）	2	7	6	1	4	-	49	0
要精検率（%）	2.8	10.1	8.5	2.0	7.5	-	89.1	0

（3）成年期の健康診査事業

（平成26年度予算額 4,443千円） 健康課成人保健係

生活習慣の変化により、若年層からの健康管理が重要であることから、40歳未満で他に健診機会のない方を対象に、自分や家族の健康管理の第一歩として健康の自己管理能力を育む支援を行うものです。

①さわやか健診

- ・健診回数：一般 レディース健診 6回、メンズ健診 2回
障害者就労継続支援事業所健診 6回 計14回
 - ・検査項目：健康診査（特定健診と同じ項目：眼底検査を除く）、
骨粗しょう症健診（年度内に20・25・30・35歳の年齢を迎える女性の希望者）
 - ・健診時に全員に学習会を実施
 - ・レディース健診では一時保育を実施（一時保育利用68人）
- （平成25年度実績）

		健康診査		骨粗しょう症検診
		レディース	メンズ	レディース
受診者数（人）		364	149	87
判定区分(人)	要指導	144	46	6
	要医療（要精検）	70	81	2
	治療中	12	3	0
要指導・要医療（要精検）率（%）		62.1	87.2	9.2

② 障害者通所施設健診

- ・健診回数：6回
- ・検査項目 健康診査（特定健診と同じ項目：眼底検査を除く）
（平成25年度実績）

		健康診査		計
		男	女	
受診者数（人）		89	69	158
判定区分(人)	要指導	26	25	51
	要医療（要精検）	40	24	64
	治療中	6	5	11
要指導・要医療（要精検）率（%）		80.9	78.3	79.7

(4) 後期高齢者医療保険健康診査事業

（平成26年度予算額 103,005千円） 健康課成人保健係

山形県後期高齢者医療広域連合からの受託事業で、被保険者に係る糖尿病等の生活習慣病の早期発見、医療費適正化を図るために健康診査を実施するものです。

- ・健診の内容
 - ①問診、身体計測（身長・体重）、理学的検査、血圧測定、検尿（糖、蛋白）、脂質検査（LDL コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪）、肝機能検査（AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP))、糖尿病検査（空腹時血糖またはヘモグロビンA1c）
 - ②心電図検査、貧血検査、眼底検査
- ・健診対象者 鶴岡市に住所を有する被保険者のうち、施設入所等の除外者規定に該当しない方
（下記の対象者は、上記のうち各年度4月1日時点で加入している方）

（実績：各年度の翌年4月受付分まで）

		23年度	24年度	25年度
対象者数（人）		21,689	20,343	20,890
受診者数 （人）	集団	1,580	1,628	1,783
	個別	3,491	3,523	3,480
	ドック	2,069	2,252	2,396
	計	7,140	7,403	7,659
受診率（%）		32.9	36.4	36.7

(5) 特定健康診査・特定保健指導事業

(平成 26 年度予算額 147,993 千円) 国保年金課国保医療係・健康課成人保健係

鶴岡市国民健康保険が被保険者の適切な健康管理を図るために、生活習慣病の予防に着目した健康診査及び健康診査の結果により健康の保持に努める必要がある者に保健指導を実施するものです。

- ・ 健診の内容①問診、身体計測（身長・体重・腹囲）、理学的検査、血圧測定、検尿（糖、蛋白）、脂質検査(LDL コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪)、肝機能検査(AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP))、糖尿病検査(空腹時血糖またはヘモグロビン A1c)

②心電図検査、貧血検査、眼底検査

- ・ 健診対象者 年度中に 40 歳以上となる被保険者のうち、施設入所等の除外者規定に該当しない方
(下記の対象者は、上記のうち一年間通して加入している方)

(実績：各年度の翌年 4 月受付分まで)

		23 年度	24 年度	25 年度
対象者数 (人)		25,756	25,041	24,713
受診者数 (人)	集 団	3,831	3,668	3,752
	個 別	279	202	166
	ドック	8,770	8,701	8,606
	計	12,880	12,571	12,524
受診率 (%)		50.0	50.2	50.7
階層区分 (人)	積極的	601	557	452
	動機づけ	1,109	979	792
	計	1,710	1,536	1,244

- ・ 特定保健指導状況
 - ① 荘内病院人間ドックは市直営実施
 - ② 特定健診委託機関のうち 4 機関にて実施
(健康管理センター・協立病院・宮原病院・斎藤胃腸クリニック)
 - ③ 実施内容：180 ポイントの個別支援のプログラムにて実施
・ 初回面接・継続支援(個別面接・電話支援・支援レター)・6 ヶ月後評価

(平成 25 年度実績)

	積極的支援	動機づけ支援	計
対象者数 (人)	452	792	1,244
実施者数 (人)	132	240	372
実施率 (%)	29.1	30.4	29.9
実施方法	委託・一部直営		
自己負担金	無 料		

※平成 25 年度特定健診受診者で、平成 26 年 3 月 31 日現在特定保健指導実施数値。

※法定報告値とは異なり、平成 26 年 10 月に H25 年度の実績報告は決定されます。

(6) 健康教育・健康相談事業

(平成 26 年度予算額 2,325 千円) 健康課成人保健係

① 健康教育事業

健康教育は、生活習慣病の予防などの健康に関する正しい知識を広めることによって「自らの健康は自らがつくる」という認識と自覚を高め、「健康の自己管理能力」を育成することによって壮年期からの健康づくりを促進するものです。

- ・内 容 各地区公民館やコミュニティセンターなどを会場に実施するほか、全市的な事業として、医師・保健師・栄養士・健康運動指導士などを講師に健康講座の開催や健康づくりについての研修を行うものです。
- ・対象者 40 歳以上の市民及びその家族

(実施状況)

		23 年度	24 年度	25 年度
歯周疾患	活動回数 (回)	1	2	5
	人 数 (人)	12	35	285
骨粗しょう症	活動回数 (回)	17	25	3
	人 数 (人)	342	234	346
病態別	活動回数 (回)	60	23	35
	人 数 (人)	1,075	538	934
薬	活動回数 (回)	0	0	0
	人 数 (人)	0	0	0
一般	活動回数 (回)	1,244	1029	886
	人 数 (人)	34,886	33,607	23,910

②健康相談事業

健康相談は、心身の健康についての個別の相談に応じた必要な指導や助言を行い、家庭における健康管理に役立てていただくものです。

- ・内 容 各地区公民館やコミュニティセンターなどを会場に、保健師が中心となって生活習慣病の予防などについての健康相談や医師、栄養士、歯科医師などの協力を得て、糖尿病予防、食生活改善、歯周疾患予防、寝たきり予防などの健康相談を行うものです。
- ・対象者 40 歳以上の市民及びその家族

(実施状況)

		23年度	24年度	25年度
重点健康相談	活動回数(回)	49	25	19
	人数(人)	291	256	236
総合健康相談	活動回数(回)	464	315	441
	人数(人)	7,509	5,003	5,784
計	活動回数(回)	513	340	460
	人数(人)	7,800	5,259	6,020

③ 健康手帳交付事業

健康手帳は、健康増進法に基づき、特定健診・保健指導等の記録、その他健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理に資することを目的に交付するものです。

- ・交付対象者：40歳以上の市民で希望する方

<交付実績>

	交付数
23年度	797
24年度	678
25年度	832

④ ヘルスアップ事業

ヘルスアップ事業は、生活習慣病の一次予防として、個別健康支援プログラムの実施を行い市民の健康増進、医療費の伸びの抑制を図るとともに、健康づくり推進の担い手である健康づくりサポーターの組織育成・活動支援を行なうものです。

(1) ヘルスアップセミナー

肥満等の生活習慣病の危険因子を有する方に対し、個人の健康度や体力に基づいた個別支援や疾病・食生活等の講義、運動指導を実施し生活習慣改善と健康づくりサポーターとしての育成を図ります。

- ・対象：40歳～69歳で以下の条件に1つ以上該当する方
 - ①BMIが23.0～30.0の方
 - ②腹囲が基準値以上（男性85cm・女性90cm以上）の方
- ・実施内容：体重の減少を目的とした運動・食事指導を2週1回(合計8回)12週間行なう個別健康支援プログラム(2コース：昼コース・夜コース) ※詳細は以下のとおり

(平成 25 年度実績)

	夜コース	昼コース
開催場所	総合保健福祉センター にこ♥ふる	
開催期間	5月28日～8月22日	9月4日～11月28日
受講人数	24人	28人
参加状況	85.9%	91.1%
修了人数	21人(87.5%)	26人(92.9%)

(2) スーパー健康づくりサポーター組織育成・活動支援

- ① ヘルスアップセミナーへの運営協力
- ② フォローセミナーの企画運営(年2回)
- ③ 情報誌の企画・作成(年2回発行)
- ④ 健康づくりサポーターのつどい企画運営(年1回)など

⑤ 健康づくりセミナー

若年期からの健康づくりを推進し、市民の生活習慣病予防および健康管理に対する意識の高揚を図ることを目的に実施するものです。

○さわやかセミナー

- ・対象 さわやか健診を受診しセミナー参加を希望した方
- ・内容 講話と実技(食生活アドバイス・健診結果について・からだの歪みチェック・ソフトエアロビ・筋トレ・希望者は個別相談)
- ・実施回数 2回 午前1回 午後1回 (託児有)
- ・参加者数 男性4人 女性35人 (託児利用11人)

(7) 国保ヘルスアップ訪問指導事業

(平成26年度予算額 1,410千円(国保1,410千円)) 健康課成人保健係 増え続ける糖尿病の予防対策の一環として、「糖尿病精密検査回報書」を活用した精密検査の受診勧奨を行うと共に、未受診者に対して訪問指導を実施し、糖尿病の発症や重症化の防止を図ります。

① 糖尿病予防対策事業(回報書の活用)

特定健診で要精検となった方の結果を把握し、ハイリスクの方に対して生活習慣の改善を図り、糖尿病の発症や重症化を予防します。

- ・対象者: 40～69歳の国保加入者(途中加入、生保者を含む)で特定健診を受診した方(一泊ドックを除く)
- ・精検対象者: 空腹時血糖 110mg/dl 以上またはヘモグロビンA1c(NGSP値) 6.0%以上
※平成24年度はヘモグロビンA1c(JDS値)5.5%以上。
※定期受診や治療中を除く。ただし、平成23年度は含む。

(血糖検査・精密検査受診状況)

年次推移状況	血糖検査受診者数	精検対象者数	要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)
平成 23 年度	9,741	1,149	11.8	748	65.1
平成 24 年度	9,506	1,003	10.6	673	67.1
平成 25 年度	9,548	812	8.5	※468	57.6

※25 年度精検結果：平成 26 年 5 月末現在の糖尿病精密検査回報書の返信があったもの。

平成 23・24 年度については、翌年度末までに返信のあったもの。

(精密検査受診結果内容)

平成 24 年度	正常	境界型	糖尿病型	治療中(再掲)	未把握	計
人数(人)	137	213	242	100	81	673
割合(%)	20.4	31.6	36.0		12.0	100.0

※精検結果は、翌年度の 9 月末までに回報書が返信されたものでまとめるため、24 年度分を掲載します。

② 国保ヘルスアップ訪問指導事業

受診翌月に対象者把握ができる特定健診データ管理システムを利用し、精密検査未受診者に対し受診勧奨を目的に訪問指導を実施し、糖尿病の発症や重症化を予防します。

○訪問指導対象者：特定健診データ管理システムにおいて当該月に国保連に特定健診受診の報告があった者のうち、下記に該当し、精密検査回報書が発行されたもので、受診 2 ヶ月後に回報書の返信がないもの

- ・年 齢：40 歳～69 歳
- ・検査結果：空腹時血糖 110mg/dl 以上あるいはヘモグロビン A1c (NGSP 値)6.0%以上 (定期受診を含む治療中を除く)

(※ただし 24 年度はヘモグロビン A1c(JDS 値)5.5%以上)

		回報書発行者	2 カ月後回報書返信あり	訪問指導対象者	受診勧奨結果		受診勧奨(延数)		
					受診あり 勧奨時既受診 (再掲)	未受診	電話	訪問 面接	その他 通知等
24 年 度	人数	1,003	408	595	265 (203)	330	337	121	541
	率(%)	100.0	40.7	100.0	44.5	55.5			
25 年 度	人数	812	239	573	229 (88)	344	196	117	346
	率(%)	100.0	29.4	100.0	40.0	60.0			

※勧奨結果は平成 26 年 5 月末現在において回報書の返信、また訪問指導事業で把握した数値。

4 高 齢 保 健

長寿介護課や地域包括支援センター等の関係機関と連携しながら、高齢者の健康寿命の延伸を目標に、各事業の効果的な実施と、高齢者の健康づくりを推進します。

(1) 介護予防事業

(平成 26 年度予算 65 歳からの健康づくり事業 899 千円 [介護 899 千円])

健康課高齢保健係

① 高齢者健康講座・教室

ロコモティブシンドローム予防、脳卒中発症予防、認知症予防を重点とし、地区組織と連携し高齢期の健康づくりを支援します。

(平成 25 年度実績)

事業名称	対象	内 容	回数	参加延人数
鶴岡地域 65 歳からの健康づくり事業 (20 学区・地区で開催)	65 歳以上	生活習慣病予防、認知症予防、生活体力測定、食生活講話、運動（軽スポーツ・体操）、レクリエーションなど	59	2,292
藤島地域 高齢者健康講座	65 歳以上	脳卒中予防の講話、減塩食講話、味噌汁塩分測定、ロコモ講話、体力測定、運動実践	7	178
羽黒地域 冬季健康講座「男塾」	65 歳以上の男性	こころの健康づくり、ロコモ予防講演、生活体力測定、調理実習、運動	3	54
榊引地域 高齢者健康講座	65 歳以上	食生活についての講話・調理実習・ロコモ予防のための運動体験	3	75
朝日地域 老人クラブ健康教室	地区 老人クラブ	介護予防のためのロコモ予防体操の体験	8	193
合 計			80	2,792

② 脳卒中発症・再発予防事業

脳卒中の発症予防を目的として、健診結果で要指導者等の人を対象にセミナーを実施します。

(平成 25 年度実績)

- ・日 時：平成 25 年 7 月 25 日（木）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
- ・会 場：鶴岡市総合保健福祉センター
- ・内 容：講演「高血圧と脳卒中の危険な関係～脳卒中からあなたと家族を守る～」
講師：市立荘内病院 丸谷 宏 医師
講話「上手な減塩」(減塩しょうゆとしょうゆの比較による試食)
講師：鶴岡市健康課栄養士
- ・参加人数：121 人

③ 8020運動普及・啓発及び表彰事業

この運動は、厚生労働省の成人歯科保健対策推進事業の重要な位置を占めており、日本人の平均寿命に近い80歳において、自分の歯を20本以上保つことを目標とした活動です。

歯科診療所で健診を受け申請します。

(表彰者実績)

	23年度(人)	24年度(人)	25年度(人)
80～84歳	86	80	104
85～89歳	8	7	15
90歳以上	0	1	1
合計	94	88	120

最高齢者年齢	89歳	92歳	90歳
--------	-----	-----	-----

④ 健康教育・健康相談

町内会、老人クラブ、地域でのお茶のみサロンや独居高齢者会食交流会等での健康学習活動を支援し、高齢期の健康意識の啓発と健康づくりを推進しています。

	23年度		24年度		25年度	
	回数	参集延人数	回数	参集延人数	回数	参集延人数
健康教育	344	8,991	339	8,325	424	10,322
健康相談	149	2,629	139	1,949	183	2,571

(2) 認知症予防対策事業

(平成26年度予算額 292千円〔介護 292千円〕) 健康課高齢保健係

① 認知症予防講演会及び健康教育

高齢化の進展とともに、増加が予想される認知症について、正しい知識の普及と認知症予防を推進しています。

(再掲)

23年度		24年度		25年度	
回数	参集延人数	回数	参集延人数	回数	参集延人数
68	1,968	58	1,791	52	2,016

(3) 訪問指導事業

(平成 26 年度予算額 704 千円) 健康課高齢保健係

介護予防の観点から支援の必要な方、及び健康診査の結果で指導が必要と認められた方や家族に対して、保健師や看護師が訪問して保健指導を行い、心身の機能低下防止と健康の保持増進を図るものです。

		23 年度		24 年度		25 年度	
		訪問実人数	訪問延人数	訪問実人数	訪問延人数	訪問実人数	訪問延人数
要指導者	40～64 歳	185	226	277	345	167	175
	65 歳以上	262	281	193	208	172	183
	計	447	507	470	553	339	358
閉じこもり予防	40～64 歳	4	4	5	8	0	0
	65 歳以上	43	58	49	63	29	34
	計	47	62	54	71	29	34
介護家族者	40～64 歳	8	9	15	22	7	7
	65 歳以上	16	29	12	26	10	10
	計	24	38	27	48	17	17
寝たきり者	40～64 歳	1	2	0	0	0	0
	65 歳以上	10	11	13	14	1	2
	計	11	13	13	14	1	2
認知症高齢者	40～64 歳	2	3	1	1	1	1
	65 歳以上	56	90	69	99	36	49
	計	58	93	70	100	37	50
その他	40～64 歳	74	97	28	50	72	87
	65 歳以上	150	200	96	118	115	144
	計	224	297	124	168	187	231
口腔衛生指導(再掲)		0	0	0	0	0	0
計	40～64 歳	274	341	326	426	247	270
	65 歳以上	537	669	432	528	363	422
合 計		811	1,010	758	954	610	692

5 健康づくり

(1) 保健対策事業

(平成 26 年度予算額 343 千円) 健康課保健総務係

① 健康なまちづくり推進協議会運営事業

鶴岡市健康なまちづくり推進協議会は、平成 9 年度に市民一人ひとりが健康づくりへの取組みを推進し、地域・職場の中に健康づくりの輪を広げ、健康づくりの環境を整備することを目的に設置されました。

平成 12 年度からは、国民生活習慣改善モデル事業を推進するための専門委員会を設置すると共に、平成 15 年度「いきいき健康つるおか 21 保健行動計画」の策定にも取り組んできました。その後、市町村合併を経て、平成 20 年度新たに要綱を制定し、市民の健康づくり推進に関する事項及び保健行動計画に関する事項について協議し、提言を行なう機関として発足しました。

平成 24 年度は、「いきいき健康つるおか 21 保健行動計画」の策定委員会を兼ねて開催されました。

平成 26 年度は、新たな「いきいき健康つるおか 21 保健行動計画」の進捗状況及び市の健康づくり事業について、協議、提言を行います。

(2) いきいき市民の健康づくり推進事業

(平成 26 年度予算額 3,024 千円) 健康課成人保健係

① いきいき健康プラン事業

誕生から高齢期まで健康な生活を送るために、年代ごとの健康課題を提起し、市民各自の「健康の自己管理」を促すことを目標とします。

1 歳・30 歳・40 歳・50 歳・61 歳の 5 年代に事業や健診案内と同時に“健康メッセージ”のパンフレットを送付します。

② 保健衛生推進員活動支援・育成事業

目的：地域住民の健康づくりの推進を図ることを目的に活動します。

保健衛生推進員は、町内会や自治会から推薦され市長が依頼しています。

	名 称	会員数(人)	活 動 内 容
鶴 岡 (小学校区の単位で 21 地区に組織がある)	保健衛生推進員会 (要綱上では上記の名称と するが、各地域で異なる)	724	・会の運営に関すること ・推進員の研修 ・各種健診の啓発活動 ・健康づくり事業の推進 ・研修会への参加と呼びかけ ・行政や地区事業への協力
藤 島	保健推進員会	86	
羽 黒	保健推進員会	70	
櫛 引	保健福祉推進員会	21	
朝 日	保健委員会	38	
温 海	保健推進員会	41	
合 計		980	

③ 保健衛生推進員会連合会支援事業

(鶴岡地域)

目 的：鶴岡地域の小学校区単位で活動している 21 地区の保健衛生推進員会組織の連合会で、地区保健衛生推進員会相互の連携・調整を通じ推進員の研鑽と親睦交流を図り、関係機関との連携を密にし、市民の健康づくり運動の推進に寄与することを目的に活動しています。(平成 10 年 2 月に設立総会)

主な事業 ・三役会、理事会、総会

・研修会

・専門委員会での健康づくり啓発のための事業

*健康のつどい *ステップアップ講座 *会報発行

④ 食生活改善推進事業

(ア) 食生活改善推進協議会

「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に、各地域・地区を基盤に活動しています。

健康づくりの 3 つの柱“食生活・運動・休養”を基本とし、適切な食生活の普及や食育・地産地消の啓発などを通じて、地域の健康づくり活動を推進します。

・主な活動内容

地域への食生活改善推進活動、食育活動、伝達講習会、一人暮らし高齢者への会食・配食サービス、健康づくり推進事業への参加、会員研修 等

〈食生活改善推進活動〉 (平成 25 年度実績)

推進員数	集 会		対話・訪問		総 数	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
647	2,201	10,723	1,751	5,065	3,952	15,788

〈会員数〉

鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	全市
329	108	69	56	34	51	647

(イ) 食生活改善推進員養成

各地域で健康づくり活動を推進していく食生活改善推進員を養成するための講座を開催します。

〈食生活改善推進員養成講座受講者状況〉(平成 25 年度実績)

	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海
受講者数 (人)	12	9	-	-	-	-
修了者数 (人)	12	9	-	-	-	-
食改入会者 (人)	12	9	-	-	-	-

※住所地以外でも受講可。ただし修了後は住所地の組織に入会。

⑤ 健康づくり啓発事業

健康課成人保健係

○「健康づくり強調月間」事業

(鶴岡地域)

鶴岡地域において、健康づくりの啓発を目的に 10 月を健康づくり強調月間と位置づけ各種事業を展開しています。

(平成 25 年度実績)

テーマ「すてきです！その汗、その顔 その健康」

◇「市民健康のつどい」

10 月 6 日 (日) 小真木原総合体育館 約 1,500 人来場

内 容：運動体験コーナー、体組成計測定、素肌年齢チェック、各種団体による展示コーナー

◇「市民ロビー健康展」

10 月 15 日 (火) ～22 日 (火) 市役所市民ロビー・総合保健福祉センターにこゝふるロビー 約 400 人来場

内 容：総合保健福祉センターの健康づくり活動紹介
がん受診向上、スマートランチ、こころの健康づくり、
妊婦の禁煙について、乳児の事故防止、
休日夜間診療所および休日歯科診療所、ドクターヘリ 等

◇「まちなか健康ウォーキング」

9 月 28 日 (土) 92 人参加

内 容：健康運動指導士によるウォーキング指導

- ・ウォーキングコースは、2 コースを設定し鶴岡公園・銀座通りコース(3.5km)と駅前・山王通りコース(5.2km)に分かれてウォーキング
- ・参加者へ参加賞贈呈、抽選会にて記念品贈呈、健康デザートの試食
- ・ウォーキングコース休憩所及び閉会式場にて、コース近辺の見所等を紹介

- 「健康を考えるつどい」 (藤島地域)
藤島地域において、働きざかりの女性をターゲットに開催しています。
(平成 25 年度実績)
2 月 9 日 (日) JA 庄内たがわ本所 167 人来場
内 容：講演「健康長寿へ向けて～これからの生き方～」
講師 慶應義塾大学医学部教授 武林 亨 氏
講話「藤島地域の保健状況」 保健師
- 「健康と福祉のつどい」 (楡引地域)
家庭や地域での健康づくりの推進を図ることを目的に、地域歯科医師と楡引地域保健福祉推進
委員会や食生活改善推進協議会等との協力で開催しました。
(平成 25 年度実績)
10 月 20 日 (日) 楡引公民館 120 人来場
◇歯の健康コーナー、41(ふ)℃(ろ)ふろキャラバンコーナー (庄内保健所)、
介護予防コーナー (包括支援センター)、食生活を考えるコーナー、環境コーナー、
キッズコーナー、フリーマーケット、あぐりの屋台コーナー
◇健康づくり講演会
演題「お口から始まる健(けん)口(こう)生活
～子どもから大人まで お口のトラブルに悩まないために～」
講師 名古屋第一赤十字病院 歯科・歯科口腔外科 医長 佐久間 英規 氏
- 「あさひ健康のつどい」 (朝日地域)
家庭や地域での健康づくりの推進を図ることを目的に、朝日地域保健委員など朝日地域の各種
団体に実行委員会を組織し開催しました。
(平成 25 年度実績)
2 月 2 日 (日) 健康の里ふっくら 180 人来場
内 容：テーマ「和 (和やか) と話 (コミュニケーション) と輪 (つながり) で元気！」
運動体験「みんなでストレッチ」
講師 健康運動指導士 佐藤 しおり 氏
講演「脳卒中からあなたを守るために」
講師 鶴岡市立荘内病院神経内科 主任医長 丸谷 宏 氏
各団体による活動紹介、食生活改善推進員による展示・試食、
花の山形しゃんしゃん体操の紹介、
保健委員による健康チェック・運動体験・セラバンド体操の紹介など

○「あつみ健康のつどい」

(温海地域)

温海地域の保健推進員会や食生活改善推進協議会等の各団体で、実行委員会を作り、心と体の健康づくりについて学び合いました。

(平成 25 年度実績)

10 月 27 日 (日) 温海温泉林業センター 89 人来場

内 容：講演「知って得する！ロコモ予防～足腰丈夫でいつまでも～」

講師 上野整形外科 上野 欣一 氏

軽体操「今日からはじめる運動習慣 (ロコトレ)」

講師 健康運動指導士 剣持 由美 氏

各団体の活動紹介展示、いごいごがん検診コーナー、ヘルシーメニュー紹介

(3) こころの健康づくり推進事業

(平成 26 年度予算額 1,674 千円) 健康課高齢保健係

こころの健康づくりに対する意識と理解を高めるとともに、関係機関や地域住民との連携を進め、うつ病等の早期発見・早期対応と自殺予防対策の推進を図ります。

(平成 25 年度実績)

1. ネットワーク構築

①鶴岡市自殺予防対策ネットワーク会議

平成 25 年 7 月 18 日 会場：鶴岡市総合保健福祉センターにこ♥ふる 19 人

平成 26 年 3 月 14 日 同上 14 人

②自殺予防対策ネットワークだより第二号の発行 6,164 部

③庁内ゲートキーパー研修

対象：鶴岡商工会議所、山形県司法書士会、鶴岡市社会福祉協議会、鶴岡地区医師会、市職員

7 回実施、延出席者数 249 人

2. 普及・啓発事業

①こころの健康づくり講演会

平成 25 年 10 月 25 日 (金) 午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分 出羽庄内国際村 240 人

・こころの健康寸劇「つ・な・ぐ」(鶴岡市自殺予防対策ネットワーク会議委員)

・講演「誰かがあなたを必要としている～すべての人生には目的がある～」

講師 ゴスペルシンガー 市岡 裕子 氏

※鶴岡市自殺予防対策ネットワーク会議との共催で実行委員会 3 回開催

②重点地区活動：第 2 学区、大泉地区、三瀬地区、黄金地区、京田地区、西郷地区

講演会等 27 回 724 人

③広報活動

- ・鶴岡市ホームページ、市広報等への掲載
- ・自殺対策強化月間での取り組み

総合保健福祉センター情報体験コーナー、各庁舎に「こころの健康づくり」情報発信コーナー設置。自殺予防対策ネットワーク会議委員所属団体、公共機関等で相談窓口の周知。取り組み用チラシ2,920枚、啓発用ティッシュ2,160個、パンフレット1,980部。啓発グッズ、パンフレット等の設置、配布。

④「うつ予防」等をテーマにした健康教育の実施状況

回数	人数	講師内訳		
		医師	市保健師	その他
61	2,909	8	35	20

3. 個別ケア

①こころの健康相談会(年12回)：受付件数21件、来所件数15件、事例検討件数58件

②相談

	実(人)	延(人)
電話相談	67	114
来所相談	73	177

③高齢者ハイリスク者(健康チェックリストうつ項目5/5)の個別ケア

該当者	実施状況			結果				
	訪問	電話	その他	問題なし	経歴観察	受診勧奨	情報提供	その他
104	54	38	12	68	13	2	0	21

(実施状況その他：来所で面接・不在・次年度訪問対象

結果その他：入院・治療中など)

④こころの健康相談対応資質向上研修

対象者：市保健師、健康福祉部各職員、総合相談室、養護教諭等
1回実施、参加者82人

⑤スーパーバイズ事業：1回実施、参加者保健師12人

6 環境衛生対策

(1) 環境衛生対策事業

健康課保健総務係

① 環境衛生向上事業

(平成 26 年度より鶴岡市住民自治組織総合交付金に包含)

住民自治組織（町内会、住民会、自治会等）が主体的に実施する害虫駆除、健康づくり運動、環境整備等を財政的に支援し、活動の活性化と健康で住みよい生活環境の向上を図ります。

開始年度：昭和 52 年度

交付先：鶴岡地域各住民自治組織

交付金の算定：町内会長等名簿の世帯数

交付単位：町内会・地区組織単位

	平成 17 年度～	平成 19 年度	平成 20 年度～
1 世帯あたりの交付額	140 円	130 円	120 円

7 その他の保健衛生対策

(1) 救急医療

健康課保健総務係

① 鶴岡市休日夜間診療所

(平成 26 年度予算額 58,696 千円)

- 救急医療対策の一環として、昭和 49 年 7 月 14 日に開所しました。
- 夜間の救急医療体制確立のため、昭和 58 年 4 月 3 日から休日の夜間診療を開始しました。
- 市民の要望に応え、平成 16 年 10 月 3 日から小児科専門医による診療を開始しました。
- 平成 19 年 4 月 1 日から、祝日及び 12 月 31 日についても午前中の診療を開始しました。
- 平成 22 年 4 月 1 日に鶴岡市総合保健福祉センター内に移転、レントゲン室及び隔離待合室を新設するとともに、患者の利便性を考慮して薬の処方を院内処方へと変更しました。
- 平成 22 年 10 月 12 日から平日（月曜日～土曜日）の夜間診療を開始しました。

所在地：鶴岡市泉町 5 番 30 号（平成 22 年 4 月 1 日 馬場町 8 番 22 号より移転）

開所日：「休日」 日曜、祝日（振替休日を含む）、12 月 31 日、1 月 1～3 日

「平日」 休日除く月曜日～土曜日

診療時間及び診療科： 「休日」 午前 9 時 00 分～正午 内科・小児科
 午後 1 時 30 分～午後 5 時 00 分 内科・小児科・外科
 午後 6 時 00 分～午後 9 時 00 分 内科・小児科
 「平日」 午後 7 時 00 分～午後 9 時 30 分 内科・小児科

従事者：医師 2 名、看護師 2～3 名、事務員 2～3 名、（夜間）各 1 名

管理運営：（一社）鶴岡地区休日夜間診療協議会に委託

事業開始年度：昭和 49 年度

（実績）

年度	区分	開所 日数	患者数				住民別			一日平均 患者数
			内科	小児科	外科	計	市内	県内	県外	
23 年 度	休日	69	2,502	2,672	314	5,488	4,921	336	231	79.5
	平日	297	1,164	922	87	2,173	2,023	100	50	7.3
24 年 度	休日	71	3,388	2,417	472	6,277	5,601	406	270	88.4
	平日	294	1,360	829	97	2,286	2,139	105	42	7.8
25 年 度	休日	70	2,892	2,174	417	5,483	4,848	412	223	78.3
	平日	295	1,234	774	129	2,137	1,952	135	50	7.2

② 鶴岡市休日歯科診療所

(平成 26 年度予算額 3,813 千円)

救急歯科医療対策として、平成 22 年度より鶴岡市総合保健福祉センター内に鶴岡市休日歯科診療所を開設しました。それに伴って平成 3 年度からの当番医制による休日歯科診療は廃止しました。

所在地：鶴岡市泉町 5 番 30 号

開所日：日曜、祝日（振替休日を含む）、12 月 31 日、1 月 1～3 日

診療時間：午前 9 時～正午、午後 1 時～午後 3 時

従事者：歯科医師 1 名、歯科衛生士 1 名、事務員 1 名

管理運営：(一社) 鶴岡地区休日夜間診療協議会に委託

事業開始年度：平成 22 年度

(実 績)

	開所日数	患者数	住 民 別			一日平均 患者数
			市内	県内	県外	
23 年度	69	470	401	51	18	6.8
24 年度	71	548	466	64	18	7.7
25 年度	70	473	398	61	14	6.8

(2) その他の医療

健康課保健総務係

① 鶴岡市国民健康保険上田沢診療所

(平成 26 年度予算額 23,172 千円)

所在地：鶴岡市上田沢字下中島 25 番地

開所日：月、水、金

利用時間：午後 1 時～午後 4 時 30 分

診療科：内科、小児科

従事者：医師 1 名、看護師 1 名、事務員 2 名

管理運営：鶴岡市

事業開始年度：昭和 59 年度

(実 績)

	開所日数	利用者数	一日平均利用者数
23 年度	146	1,117	7.7
24 年度	144	948	6.6
25 年度	143	804	5.6

② 鶴岡市国民健康保険大網診療所

(平成 26 年度予算額 35,183 千円)

所在地：鶴岡市大網字興屋 69 番地 1

開所日：月、水、金

利用時間：午後 1 時～午後 4 時 30 分

診療科：内科、小児科

従事者：医師 1 名、看護師 1 名、事務員 1 名

管理運営：鶴岡市

事業開始年度：昭和 38 年度

(実績)

	開所日数	利用者数	一日平均利用者数
23 年度	146	2,477	17.0
24 年度	144	2,386	16.6
25 年度	143	2,269	15.9

③ 献血推進事業

(平成 26 年度予算額 1,384 千円)

医療に欠くことのできない輸血用血液を確保するため、市内の各事業所、学校、地域等の協力を得て、庄内保健所ならびに赤十字血液センターとともに、献血推進を図ります。

		23 年度			24 年度			25 年度		
		確保目標(人)	献血実績(人)	達成率(%)	確保目標(人)	献血実績(人)	達成率(%)	確保目標(人)	献血実績(人)	達成率(%)
鶴岡	200ml	581	831	143.0	574	950	165.5	572	905	158.2
	400ml	2,531	2,162	85.4	2,635	2,089	79.3	2,630	2,199	83.6
藤島	200ml	40	45	112.5	24	52	216.7	29	43	148.3
	400ml	169	112	66.3	111	102	91.9	131	86	65.6
羽黒	200ml	25	35	140.0	24	36	150.0	20	50	250.0
	400ml	112	48	42.9	111	51	45.9	94	47	50.0
櫛引	200ml	25	26	104.0	20	24	120.0	25	26	104.0
	400ml	112	60	53.6	93	55	59.1	113	76	67.3
朝日	200ml	15	6	40.0	16	7	43.8	12	4	33.3
	400ml	56	58	103.6	74	61	82.4	56	52	92.9
温海	200ml	34	26	76.5	12	11	91.7	12	10	83.3
	400ml	150	96	64.0	56	25	44.6	56	22	39.3

(3) 狂犬病予防事業

(平成 26 年度予算額 1,876 千円) 健康課保健総務係

狂犬病予防法に基づき、犬の登録事務及び狂犬病予防集合注射を実施しています。

(犬の登録頭数)

	23 年度		24 年度		25 年度	
	登録頭数	うち新規登録頭数	登録頭数	うち新規登録頭数	登録頭数	うち新規登録頭数
市合計	4,302	262	4,145	287	4,030	291

(犬の注射頭数)

	23 年度		24 年度		25 年度	
	注射頭数	注射率	注射頭数	注射率	注射頭数	注射率
市合計	4,192	97.4%	4,083	98.5%	3,951	98.0%

※注射率は、登録頭数に対する注射頭数の割合です。

(4) 温泉管理事業

(平成 26 年度予算額 0 千円) 健康課保健総務係

公衆浴場の適正な管理運営を図ります。

(公衆浴場の利用状況 [延べ人数])

施設名	23 年度	24 年度	25 年度
鶴岡市湯野浜上区公衆浴場	45,150	41,307	42,780
鶴岡市湯野浜下区公衆浴場	57,435	52,697	54,081

(5) 各種補助事業

健康課保健総務係

① 鶴岡市衛生組織連合会に対する補助

(平成 26 年度予算額 491 千円)

自治組織等を会員とし、鶴岡市の環境衛生、保健衛生の向上を目的に活動する「鶴岡市衛生組織連合会」に補助金を交付し、市民の側からの衛生問題の提起、運動の実施、住民モラルの向上などの事業及び組織運営を支援します。

補助額：491,000 円

組織の沿革

設立：平成 18 年 6 月

会員の構成：町内会、住民会、地区衛生組織等

役員構成：理事 31 名（うち会長 1 名、副会長 3 名）、監事 2 名

(6) 鶴岡市総合保健福祉センター事業

健康課保健総務係

① 鶴岡市総合保健福祉センター管理運営事業

(平成 26 年度予算額 31,777 千円)

「健康と福祉のまちづくり」を推進するため、健康・子育て・福祉の相談支援や子どもから大人、高齢者までの健康づくりを支援する拠点として「鶴岡市総合保健福祉センター」（平成 22 年 4 月 1 日開所）を管理運営しています。

(保健センター施設の利用状況)

(単位：人)

	総合健診 ホール	軽トレーニ ングルーム	健康増進 ホール	栄養指導 研修室	大会議室	小会議室	合 計
23 年度	16,359	4,120	8,896	6,565	17,691	4,434	58,065
24 年度	14,754	4,030	10,575	7,117	18,216	4,848	59,540
25 年度	(※) 11,346	5,071	11,752	8,305	19,689	5,934	62,097

(※) 総合健診ホールを会場として行っていた乳幼児の集団予防接種が、平成 25 年度から個別接種に移行しました